

ホラリー占星術入門・実践編（占い大学）

パートナーシップを占うホラリーの法則

シグニファイケーターの特定

- 第1ハウスとそのルーラーがケレント（質問者）を、第7ハウスとそのルーラーがケジテッド（質問されている対象者）を意味する。（第5ハウスはパートナーシップではなく性的な快楽を意味する。）
- 月もまたケレントを示すシグニファイケーターであり、質問されたパートナーシップがどのような方向へ展開するのかについても示している。ただし第7ハウスのカस्पが蟹座にある場合は、月はケジテッド（相手）を示す天体となる。
- パートナーシップのホラリーでは、金星は女性の、太陽を男性のナチュラル・シグニファイケーター（本来的な表示星）であり、それらのコンディションも付加的な情報となる。しかし、基本的な判断は第1ハウスと第7ハウスのルーラー、そして月の状態を中心に判断すること。

シグニファイケーターの強さ

- シグニファイケーターが特定されたら、それらのエッセンシャル・ディグニティーとアクシデンタル・ディグニティーを調べて強度を把握する。
- ケレントのシグニファイケーターが強力なら、ケレントは目標を達成する力を持っているか、そのパートナーシップを成立させる、あるいは維持しようとする意思が強いと考えられる。
- 弱いシグニファイケーターは、ケレントが目指している関係になるまでに困難があるか、パートナーシップを成立、あるいは維持する気持ちが弱い可能性を示している。
- ケジテッドのシグニファイケーターが弱い場合、ケレントが望んでいるその相手が2人の愛情関係を作れないか、そうする意志がない、あるいはそもそもその関係にふさわしくないことを示している。
- ケレントとケジテッドのシグニファイケーター同士の強度を相対的に比較すること。ほとんどの場合、シグニファイケーターがより強い側がその愛情関係の行方をコントロールすることになる。

シグニファイケーターのハウス

- 第1ハウスのルーラーが第7ハウスに、あるいは第7ハウスのルーラーが第1ハウスに入ることは、恋愛や結婚のポジティブな指標となる。
- リリーは第7ハウスのルーラーが第7ハウスに入っている場合、それはケジテッドが愛情を持っておらず、結婚する気はほとんどないことを示すとしている。また、第1ハウスのルーラーが第7ハウスにある場合はケレント側の気持ちのほうがケジテッドよりも強く、第7ハウスのルーラーが第1ハウスにあれば、ケジテッドがケレントを好いている気持ちの方が強いと述べている。

シグニファイケーター同士のアスペクト

- シグニファイケーター同士が作るアスペクトは、恋愛や結婚の願望が成就するかを判断する重要な指標である。アプライのアスペクトが未来の出来事を、セパレートのアスペクトが過去の出来事を示す。基本的に、コンジャクションやセクスタイル、トラインはポジティブな状況を、スクエアとオボ

ホラリー占星術入門・実践編（占い大学）

ジションがネガティブな状況をそれぞれ示している。ただし、その願望が現実に成就するかどうか、あるいはそのパートナーシップに満足できるかどうかは、アスペクトのみで判断しないこと。

- シグニファイケーターがドミサイルやイグザルテーションによるミューチュアル・リセプションの状態にある場合、アスペクトがなくても恋愛や結婚の願望が成就する可能性がある。その他のリセプション、つまりより低いレベルでのミューチュアル・リセプションや、一方のみのリセプションの場合は、アスペクトがなければ効力を発揮しない。
- シグニファイケーターのアスペクトがスクエアでも、有効なリセプションさえあるなら、トラブルや困難はあるものの、それを乗り越えられる可能性がある。
- シグニファイケーターがオポジションを作っても、そこにミューチュアル・リセプションがあるなら、そのパートナーシップは成立する可能性があるが、結果的にその関係を作ったことをケレントが後悔する可能性がある。
- ポジティブなアスペクトがある時でも、シグニファイケーターの力が弱い場合は、パートナーシップが成立しないか、成立しても満足感が感じられなかったり、長続きしなかったりする可能性がある。
- シグニファイケーターがシグニファイケーターではない惑星にアスペクトする場合、その惑星がパートナーシップの行方に影響を及ぼす可能性がある。その惑星がベネフィックなのかマレフィックなのか、強いのか弱いのか、どのハウスを支配しているのか、そしてどんなアスペクトやリセプションを作っているのかを認識し、その正体と影響力を考えること。
- シグニファイケーターの間にはトランスレーション・オブ・ライトやコレクション・オブ・ライトがある場合、その愛情関係を応援してくれる友人や知人の存在が期待できる。
- シグニファイケーターの間にはアスペクトがない場合は、ケジテッドがケレントにまったく関心がないか、他の人物に好意を持っている可能性がある。

ホラリー占星術入門・実践編（占い大学）

ホラリー・リーディング記録ノート

<質問の内容、および日時と場所>

<質問者の氏名とプロフィール、質問の背景>

<警告の有無>

<チャートの信頼性>

<ケレント（質問者）のシグニファイカーとそのディグニティー>

<ケジテッド（質問の対象）のシグニファイカーとそのディグニティー>

ホラリー占星術入門・実践編（占い大学）

<シグニファイケーター同士のアスペクト>

<アスペクトを支援、あるいは妨害する要素>

<関連するハウスの状況>

<判断>

<結果>